

## 2021年度 西九州大学短期大学部

### 「データサイエンス（リテラシーレベル）教育プログラム」自己点検・評価報告書

#### 1. はじめに

西九州大学短期大学部点検・評価に関する規定に則り、「データサイエンス（リテラシーレベル）教育プログラム」の自己点検・評価を実施した。

#### 2. 履修状況

| 授業科目名                | 履修者数  | 単位修得者数 | 単位修得率 |
|----------------------|-------|--------|-------|
| 情報リテラシー I<br>(演習を含む) | 158 名 | 152 名  | 96.2% |
| SDGs 入門              |       | 149 名  | 94.3% |
| SDGs の実践             |       | 149 名  | 94.3% |
| データサイエンスの<br>基礎      |       | 141 名  | 89.2% |

#### 3. 修了の実績

| 学科     | 履修者数  | 修了者数  | 修了率   |
|--------|-------|-------|-------|
| 地域生活支援 | 79 名  | 66 名  | 83.5% |
| 幼児保育   | 79 名  | 71 名  | 89.9% |
| 合計     | 158 名 | 137 名 | 86.7% |

#### 4. 自己点検評価組織

西九州大学短期大学部点検・評価運営委員会が毎年行う自己点検・評価の一環として実施した。また、その評価結果については教務委員会で分析し、学科・コースレベル、科目担当レベルでの改善を促す。

#### 5. 2021年度点検・評価対象

2021年度に開講した授業科目「情報リテラシー I（演習を含む）」、「SDGs 入門」、「SDGs の実践」、「データサイエンスの基礎」と履修学生の学習成果、学生による授業評価を対象とした。

#### 6. 評価結果の判定

評価結果に基づき、以下の3段階の評価レベルで判定を行った。

【3】優れている。十分に行われている

【2】行われており相応である

【1】改善の必要がある

## 7. 点検・評価結果

### (1) 授業科目の点検・評価

| 点検項目               | 点検結果  | 評価結果  |
|--------------------|---|---|
| 履修・修得状況・学習成果に関する事項 | <p>2021 年入学生全員が必修科目である「データサイエンスの基礎」及び「情報リテラシー I」、「SDGs 入門」、「SDGs の実践」を履修している。プログラムの履修者は、158 名で、データサイエンスの基礎については、単位修得者が 141 名、情報リテラシー I については、152 名、SDGs 入門、SDGs の実践については、149 名であり、プログラム全体の修了率は 86.7%であった。全学必修科目で、プログラムは構成されているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、入国が遅れた学生へのフォロー中のため、修了率が 100%に届いていない。</p> <p>学修成果としては、授業内容の節目にレポート課題を設定し、学生の理解度を把握するようにつとめている。</p>  | <p>履修状況及び単位取得状況は良好である。学生の学修成果の把握も適切に行われている。</p> <p>評価レベル【2】</p> |
| 授業で用いた教材・課題等に関する事項 | <p>○情報リテラシー I については、「30 時間でマスターOffice2019」(実教出版)の内容・演習に準拠しながら、コンピュータに使い方からデータの扱い方等について基礎的な事項から学修出来るように工夫している。</p> <p>○「データサイエンスの基礎」については、オムニバス形式の講義であるため、各回の担当教員が講義資料を作成している。</p> <p>○「SDGs の入門」は「未来をつくる道具わたしたちの SDGs」の内容に準拠しながら、SDGs の項目を確認し、データを用いる事で、どのような事がわかるかを理解できるように工夫している。</p> <p>○「SDGs の実践」では、外部講師の講話やグループでのディスカッションを中心に講義を進める。その中でデータを用いてプレゼンテーションを行うなど、具体的な数値の扱い方を身に付ける工夫を行っている。</p> <p>「データサイエンスの基礎」、「SDGs 入門」、「SDGs の実践」の授業については Teams 上にアーカイブを残し、学生がいつでも自由に講義の閲覧、振り返りができるようにしている。</p> | <p>教材及び課題等の内容・レベルは、授業の到達目標に対して適切である。</p> <p>評価レベル【2】</p>        |

|                                 |  |  |
|---------------------------------|--|--|
| <p>授業評価アンケートを通じた学生の評価・意見の状況</p> | <p>全授業科目について、授業評価を実施しており、その結果に基づいて担当教員が講義計画を改良し、授業改善に取り組んでいる。</p> <p>データサイエンスの基礎や情報リテラシー I については、概ね好評の評価となっている。授業評価アンケートにおいても、約 3.5 程度（最大 4.0）の評価を得ている。自由記述では、「データの重要性が理解できた」、「データサイエンスに興味を持てた」などの好意的な意見も多くみられた。しかし、オンライン講義における質問のしづらさなどの意見もあり、改善の必要があると考える。</p> | <p>授業評価アンケート等によって、授業改善の取り組みが適切に行われている。</p> <p>評価レベル【2】</p> |
|---------------------------------|--|--|

(2) 教育プログラムの点検・評価

| 点検項目                             | 点検結果   | 評価結果   |
|----------------------------------|--|--|
| <p>教育プログラム修了者の進路・活躍状況はどうか</p>    | <p>令和 4 年 3 月時点で本プログラムを修了した卒業生はいないため、修了者の進路や活躍状況はわからない。</p>  | <p>—</p>   |
| <p>産業界等社会等からの意見を聴取しているか</p>      | <p>令和 4 年 2 月には本教育プログラムに関する外部評価委員会を開催した。外部評価委員からは学生が本教育プログラムを修了し数理 AI データサイエンス（リテラシーレベル）の力を身に着け社会へ巣立つ事は非常に有効であり、その力をもって地域社会においても役立ち、また、大学と地域社会が密接に繋がるチャンスでもあるとの評価をいただいた。授業法については、オンラインでも双方向型のツールは必要であること、また、やる気がある学生を見つけ、学生を引き上げ、支援する工夫も必要ではないかとの意見をいただいた。</p> | <p>外部評価委員会を開催し、産業界等社会からの意見を聴取している。</p> <p>評価レベル【2】</p>   |
| <p>評価結果を学内および社会に対して広く公開しているか</p> | <p>令和 4 年 3 月に点検・評価運営委員会において評価を実施し、4 月中旬に大学 HP 上に掲載する。</p>   | <p>産業界等社会等からの意見聴取を令和 4 年 2 月に、同年 3 月に自己点検・評価を実施し、その結果を大学 HP 上に掲載しているため基準を満たしているといえる。</p> <p>評価レベル【2】</p> |